

市長定例会見

2025年3月26日

1. こうべ再生リンプロジェクトの推進

～リン回収設備の増設！全国最大のリン回収が始まります～

2. 有害鳥獣・特定外来生物対策を強化します

- ・新たな通報手段“LINE通報”の開始
- ・専門的知見を活用した有害鳥獣対策の推進

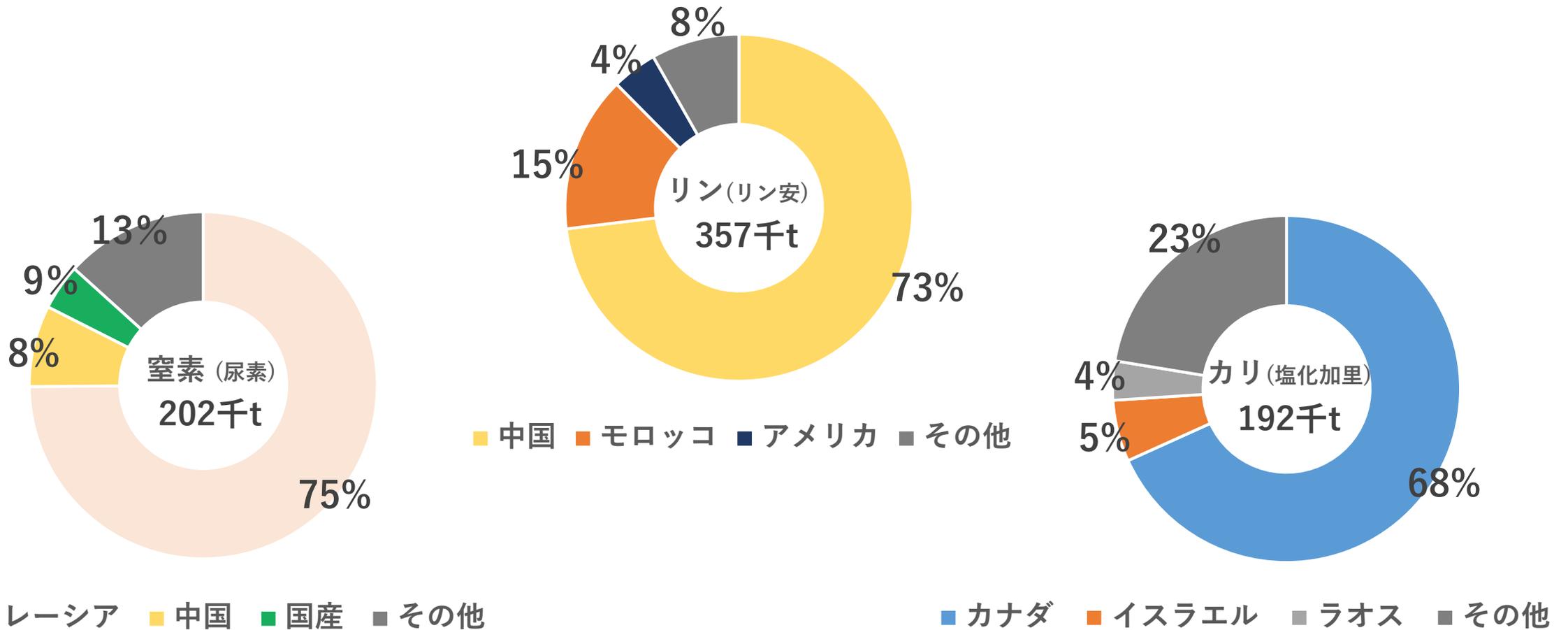
3. 被災地・県内市町への職員派遣

こうべ再生リンプロジェクトの推進

～リン回収設備の増設！全国最大のリン回収が始まります～



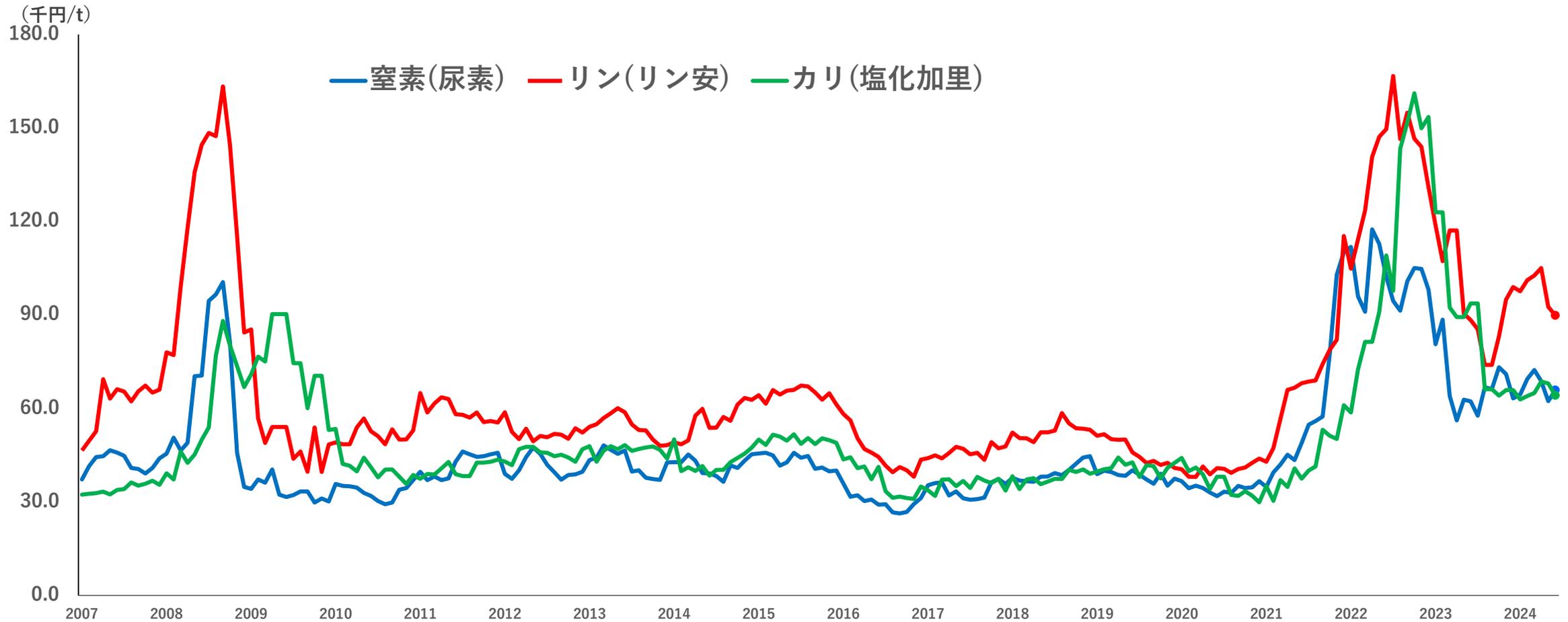
プロジェクトの背景 – 主な農業肥料原料の輸入状況 –



※農林水産省「肥料をめぐる情勢」より一部加工(2021.7~2022.6における輸入量等)

肥料原料 (窒素・リン・カリ) の多くを海外輸入に依存

肥料原料の価格推移

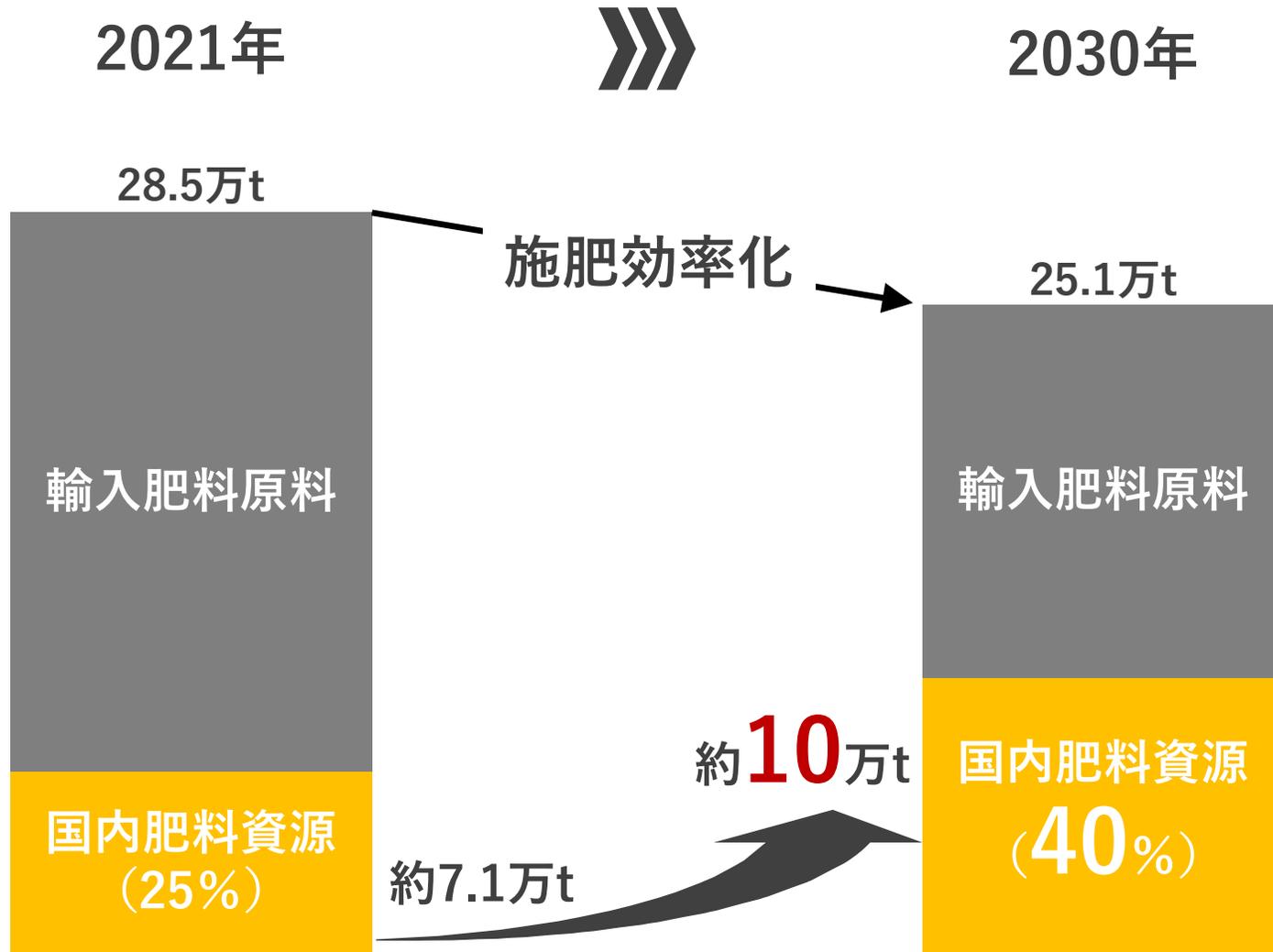


※農林水産省「肥料をめぐる情勢」より一部加工

輸入に頼る肥料原料の価格は国際情勢の影響を受けやすい

食料安全保障強化政策大綱

(リンベース)

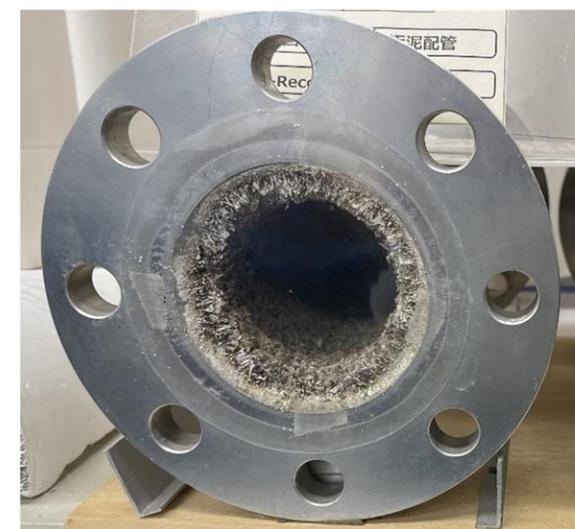


国内肥料資源



“下水”に眠るリンの活用

●：各都道府県の下水に含まれるリンの量



リンが結晶化
(閉塞管の原因)

2011年 下水汚泥から“リン”回収の研究開始

こうべ再生リンプロジェクト ～リン回収から肥料へ～

東灘処理場



リンの回収能力 100t/年
(2024年実績 75t)



こうべ再生リンプロジェクト ～肥料から食卓へ～

BE KOBE

BE KOBE農産物



学校給食



日本酒



最終消費者まで届けることに成功

“玉津処理場”でリン回収が本格始動（4/25）

BE KOBE



<特徴>

- ・回収量100t/年
- ・処理効率の向上

東灘処理場の約1.5倍※

※下水に含まれるリン濃度が同一の場合

市内のリン回収能力が全国最大の200tに

供給施設

2基 → 5基

供給量

200t → 500t

活用地域

神戸市内 → 全国へ



SDGs貢献都市として、国の食料安全保障に貢献

有害鳥獣・特定外来生物対策を強化します

- ・ 新たな通報手段“LINE通報”の開始**
- ・ 専門的知見を活用した有害鳥獣対策の推進**

新たな通報手段“LINE通報”の開始

被害事例

- ・ 人家への侵入やクリーンステーションなどが荒らされる
- ・ 農作物被害（被害額(2023年度) | 約4,400万円)
- ・ 在来種との競合、駆逐

猪の市街地への侵入



アライグマによる農作物被害



ナガエツルノゲイトウの侵略



通報手段

カミキリポストも設置

Eメール、電話等で通報

<2023年度の実績>

有害鳥獣



通報件数 | 3,095件
(件数上位3位)

1. アライグマ(871)
2. イノシシ(387)
3. カラス(217)

外来生物



通報件数 | 488件
(件数上位3位)

1. ツヤハダゴマダラ
カミキリ(155)
2. キマダラカメムシ
(103)
3. オオキンケイギク
(37)

有害鳥獣に関する相談件数の推移

神戸市鳥獣相談ダイヤル

野生動物の捕獲・対策・目撃情報など

TEL | 078-333-4408

受付 | 年中無休 (8:00~21:00)

件数 | 1983件
(2019年度)



3095件
(2023年度)

約1.6倍



より簡単な通報手段”LINE通報”が開始！ (4/1～)

特徴

- ・ 神戸市LINE公式アカウントの友だち追加のみ
- ・ 会話形式による入力で、手軽に投稿
- ・ 写真投稿により位置情報を取得 ※野生動物は危ないので写真を撮らないでください。

こちらから →



対象

<野生動物>



野生動物の
目撃・被害

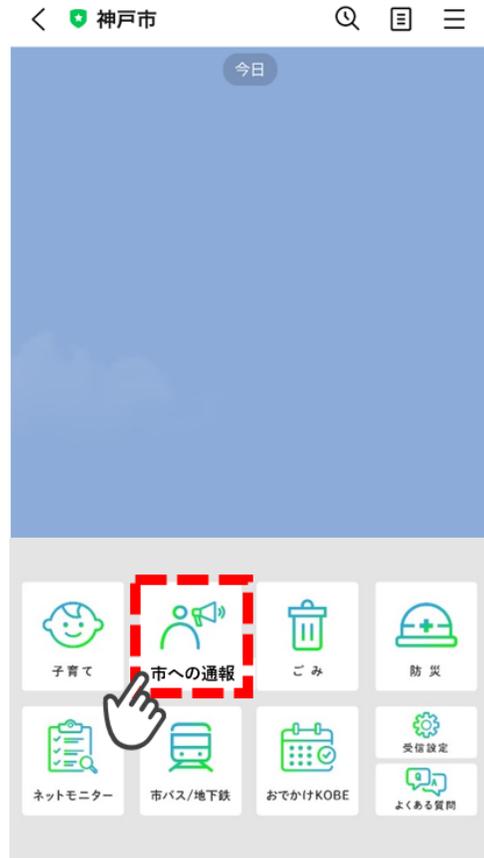
- ・ イノシシ
- ・ アライグマ
- ・ ヌートリア

<外来昆虫・植物>



外来生物

- ・ クビアカツヤカミキリ
- ・ ツヤハダゴマダラカミキリ
- ・ ナガエツルノゲイトウ



市公式LINEメニュー
「市への通報」をタッチ



「外来生物」または
「野生動物の目撃・被害」をタッチ



発見した位置情報などを
送信して投稿完了

市公式LINEよりお手軽に通報ください

専門的知見を活用した有害鳥獣対策の推進

課題

- ・ 野生動物の生息データ等に基づく科学的・専門的な対応が不十分
- ・ 個別の被害対応では、全市的に被害が減少しない



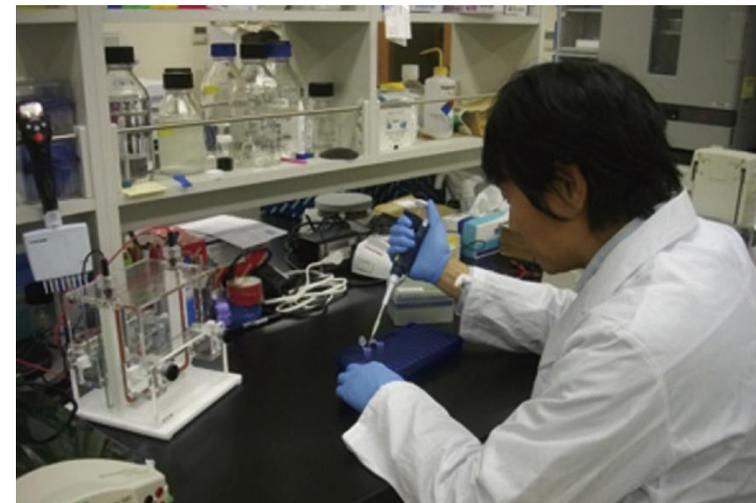
市施策立案における科学的知見の反映及び地域課題への迅速な対応

- [兵庫県立大学自然・環境科学研究所]との連携
- [神戸市鳥獣対策専門員]の雇用

主な連携事項

鳥獣対策専門員
との連携

- 野生動物に関する調査・研究
→ 生物動向のモニタリング調査など
- 野生動物対策に従事する人材の育成
→ 生物データ分析・評価など
- 被害防止のための技術開発・広報
→ 分析データを活用した捕獲対策など



2025年3月26日 協定締結

鳥獣対策専門員の募集（4月～）

募集内容

採用予定日 | 2025年度上半期

募集人数 | 2名（係長級1名、担当者1名）

※詳細については募集開始時にお知らせします

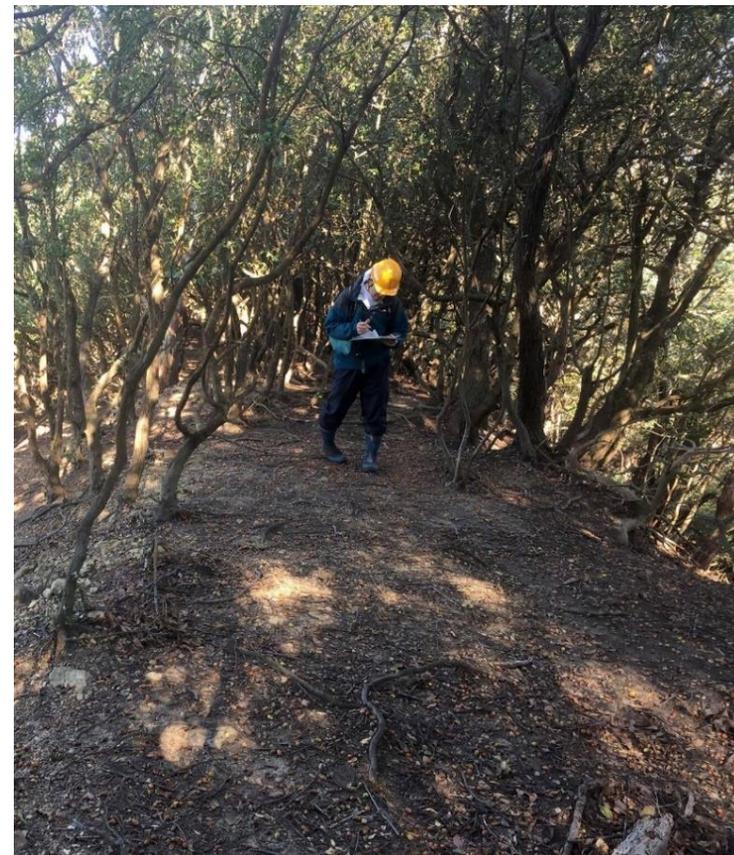
業務内容

被害防止に係る現場対応、調査研究 等

応募資格

野生動物研究分野における学士以上等または職務経験者

専門的な知見を活かし、市の対策を充実していきます



被災地・県内市町への職員派遣

被災地への職員派遣

派遣先	支援内容	派遣人数	派遣開始
珠州市	河川の災害復旧工事に関する業務	1名(土木)	2024年4月～
	NEW 土地区画及び液状化対策に関する業務	1名(土木)	2025年4月～
	NEW 住宅支援制度に関する業務	1名(事務)	2025年4月～
	災害公営住宅の建設に関する業務	2名(建築)	2024年4月～
	公費解体に係る水道の手続きに関する業務	1名(事務)	2024年11月～
穴水町	上下水道の災害復旧工事に関する業務	2名(土木)	2024年4月～
	仮設住宅等の被災者に対する健康支援に関する業務	1名(保健師)	2025年4月～

<これまで>

7名を派遣



<2025年4月1日～>

9名の派遣

県内市町への職員派遣

派遣先	従事内容	派遣人数	派遣開始
佐用町	獣害対策、森林の保全・活用、地域振興業務等	1名	2021年10月～
丹波篠山市	特産農作物の振興、環境配慮型農業の普及促進、生物多様性の保全等	1名	2023年4月～
NEW 淡路市	大学連携・万博催事などに係る企画調整等	1名	2025年4月～
NEW 洲本市	地域交通など交通政策に係る企画調整等	1名	2025年4月～
NEW 南あわじ市	農業振興に係る事業の推進等	1名	2025年4月～

<これまで>

2自治体へ派遣



<2025年4月1日～>

5自治体へ派遣

大幅に拡大!!



被災地への支援・県内市町への派遣を通じて
大都市 神戸としての役割を果たしていきます